

8月臨時会

市長及び副市長の給与を減額する条例を否決

市の事務処理ミスに対する責任を明確にするとともに、今後の再発防止や適正な事務処理に対する職員の意識を高めるため、8月から11月までの4カ月間、市長及び副市長の給料月額を50%減額する条例改正案を賛成少数で否決しました。



審議結果

議案番号	件名	議決結果
第54号議案	市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案否決

議員別賛否一覧表 (○は賛成 ×は反対 村上 秀明議長は採決に加わらない)

会派名	みらいの風							緑風会			至誠会	大政クラブ	公明党	社会クラブ	無会派		大崎	村上	賛成	反対						
	議員名	伊川	野島	井上	北村	朝長	三浦	村崎	廣瀬	山口	古閑森	山北	永尾	城	田中	岩永	小林	神近			田中	村上	水上	宮田	中瀬	敏明(副議長)
議案番号	京子	進吾	潤一	貴寿	英美	正司	浩史	政和	弘宣	秀幸	正久	高宣	幸太郎	秀和	慎太郎	史政	寛	博文	信行	享	真美	昭隆				
第54号議案	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×		9	14

討 論

<賛 成>

●今年の9月定例会までに再発防止対策をきちんと提示した後、市長が責任をとるといふのであれば、あまりにも遅すぎる。今臨時会の議案は、市民に対するおわびと市長自身のけじめをつけたいという強い思いをあらわしたものである。

そして、市職員のミスができるだけ起こらないような万全な対応策をつくりあげてもらいたい。



<反 対>

●市長の給与減額は、不祥事等が発生した場合に、責任の所在を明らかにする行為であり、事実上の懲罰と考えることができる。しかし、今回のように、職員の意識改革を促すことを目的の一つとする市長の給与減額は、妥当性を欠くものと言わざるを得ない。

また、市長就任後の市職員による不祥事等の発生状況や、県内他自治体での不祥事による特別職の給料減額の状況から見ても、今回の議案内容は、あまりにも突出した減額となっており、さらに、就任以前の過去の不祥事等の責任をも負うのであれば、納得できない。